

## 『愛と平和の神が共に』 コリント人への手紙第二13章11～13節 2016.9.25(聖日礼拝説教より)

『…これらすべての上に、愛を着けなさい。愛は結びの帯として完全なものです。キリストの平和が、あなたがたの心を支配するようにしなさい。そのためにこそあなたがたも召されて一体となったのです。』 コロサイ 3:14

◆「完全になれ(カタルティゾー)」とは「折れた骨が繋がれ／破れた網が繕われる」こと。心傷つき破れてしまった時、創り主なる神に立ち返り、癒され、繕われ、自分自身を回復していただける！「壊れた私、元気になった」の著者・水谷恵信師創設の「恵泉塾」は心のリハビリ施設。自然相手に共同作業し、共に早朝聖書を読む生活の中で、命を与え・愛し・育まれる神を知る。自分の罪を示され、赦しを知り、自分自身を取り戻し、笑顔が回復される！

①神の御旨は第一に『喜んでいること』。ダビデは、神に愛され祝され、喜びの礼拝を捧げていた。その幕屋には288人の讚美リガー、4000人の讚美を捧げる祭司が立てられ、讚美が24時間捧げられた。『神に向かって喜び叫べ！』。しかし大きな罪(バテバ事件)を機に神との関係は絶たれ、喜びは消失。彼は悔改め叫んだ『あなたの救いの喜びを私に返し、喜んで仕える霊が私をささえますように(詩篇 51:12)』！罪は御顔の微笑みを見えなくするが、立ち返る者に人生の元気・喜び・笑顔が回復される！

②神は第二に『互いに励まし合うように』勧める。私たちが、神に創られた自分を取り戻し、笑顔が回復されたのは、互いに赦し合い、平和の絆で結び合うため！不満を抱く人にこそ、愛と慰めを注ぐ！これが世の中との最大の違い！M・テレサは言う『遠くの人を愛することは簡単です。難しいのは、今、私たちのすぐ目の前、隣にいる人を愛することです…皆、愛されるべき人です。皆、愛に飢える人々です。あなたは、この世に望まれて生まれてきた大切な人！』と。

③神の願いは『私たちが一つ心になり、平和を保つ』こと。考え方も生き方も違う私たちに、神の愛、救いの本質以外は、互いに違いを尊重し、理解し、受け入れる努力を求められる。『私は教会のメンバーです』2章に『それぞれの教会は、欠点のある牧師と欠点のある信徒によって成り立っています。私たちは皆、過ちを犯します。罪を犯します。(なので)誰かが赦しを拒んだとき…教会の一致は引き裂かれてしまいます。思い出してください。キリストは私たちを深く愛し…十字架で死んでくださいました…』とある。一致の秘訣は十字架の愛。

★終わりの近い今、愛と平和の神の慰めに憩うクリスチャン同士が争い、衝突しているヒマなどない！一致のために、今「私」に出来ることは何だろう？